

(様式 3－1)

福島県家庭教育応援企業等推進活動報告書

企 業 名	大沼林産工業株式会社		
	* 取り組まれた活動に○を付けてください。		
	項目	実施に○	
実施項目	職場の家庭教育推進		従業員に、家庭教育に関する資料等を配付した。
		○	従業員に家庭教育に関する学習会等を開催した。
			従業員に「家族の日」や「家庭の日」を普及・啓発し、家族の団欒の日として、職場の行事等への実施を控えるように努めた。
	生活習慣を向上させる取組	○	従業員の家庭において、子どもが早寝、早起きをし、親子で朝ごはんをとるように働きかけた。
			従業員の家庭において、子どもが早寝、早起きをし、親子でラジオ体操や運動を行うように働きかけた。
	学校行事への参加促進		従業員が参観日等の学校行事に参加することができるように働きかけた。
			従業員が休暇を取りやすい職場の雰囲気作りに努めた。
	職場見学・体験の実施	○	従業員の子どもに、親の働く姿を見せたり、親の仕事を体験させたりした。
			地域の子どもたちに、従業員が働く姿を見せたり仕事を体験させたりした。
	学校との協働活動		学校の環境整備活動に参加した。
			学校に出向き、子どもたちの学習（社会科・総合・学級活動等）に協力した。
			地域の子どもたちの放課後の居場所づくりや体験学習に協力した。
	地域行事への協力・支援		従業員が親子で参加できる行事やレクリエーションを実施した。
			地域の親子が参加できる行事やレクリエーションを実施した。
			企業等が取り組む社会貢献活動に従業員が家族ぐるみで参加した。
			子どもが参加する地域の行事等に、企業等の施設を活動場所として提供した。
			子どもが参加する地域の行事等に、従業員を指導者又は運営者等として派遣した。
	その他（ご記入ください）	〔 〕	

具体的な取組状況

令和8年1月16日（金）に、伊達市のネウボラ推進課で行っている出前講座「子育てのじゅずつなぎ」を活用し、企業内学習会を行いました。伊達市の保健師からは「生活リズムのお話」、公認心理師からは「こころを育てるお話」をしていただきました。

子どもたちも一緒に、子育て中の従業員やその家族が参加しました。



※ 参加者9名（ママ2名、パパ3名）



子どもも一緒に参加したこと、堅苦しくなく、アットホームな雰囲気で学ぶことができました。

普段、子育てで困っていることを共有することができ、新米パパやママも「自分の家庭だけじゃない」と安心することができたようでした。また、従業員が家庭で頑張っている様子を知ることができたのもいい機会となりました。

(参加した新米ママの感想)

生活リズムとこころの育て方についてのお話を聞きました。大人（私）は自然と行動の先読みをして、危ないと知っていることから子どもを遠ざけていました。でも、恐怖や不安という感情がそこで生まれて、それを親が支えることが、心を育てる上で大切なだと知り、大切な瞬間を摘むのではなく、育てるための子どもとのやりとりの仕方を教えていただきました。

子どもが1歳半になると、感情や意思が作られはじめ、その時、自分はどう接していくべきよいのか、分からぬ場面も増えてきました。そんな中講座を聞きながら他の歳の近いお子さんを育てるママ、パパの声も一緒に聞けて、安心できる時間を過ごせました。

来年度も、伊達市ネウボラ推進課の方々が新しい講座や楽しい企画を考えてくださっていることなので、またこのような機会を作っていただけると、子どもたちも私も嬉しいです。



これらからも、子育ての不安をママ・パパの交流の場(学びの場)をつくることで楽しいもの、安心できるものにしたいと考えています。